

# 中国（上海）ビジネスサポート

## Monthly China News

\* 毎月 1 回、定期的に中国より配信致します。

12 月の上海。例年なら光眩いクリスマスツリーが街中を彩り、人々が買い物や食事に繰り出す、楽しく暖かな風景が見られるはず…。コロナ・オミクロン株が猛威を振るう今年の上海は「最冷清聖誕（最も寒々としたクリスマス）」と言われ、街中は閑散としていました。突然の防疫措置緩和で、コロナ陽性患者が一気に増えている上海より、今月のレポートをお届け致します。



### 【政治・経済】

- ・江澤民氏逝去；「三个代表」思想を提唱したことで知られる江澤民（享年 96 歳）氏が上海で逝去した。葬儀は日本でいう国葬に相当し、12 月 6 日に習近平氏主催、新幹部達と数百名のメンバーによる葬儀委員会の取り纏めのもと北京で無事に行われた。
- ・共産党中央と国務院「内需拡大戦略計画綱要」を発表；共産党中央と国務院は国内需要の促進を目的に 内需拡大戦略計画を発表した。目的は、内需拡大戦略により、国内大循環を主体とした国内国際双循環の相互促進の構築を加速させること。2035 年までの目標としては、消費・投資の規模をさらに拡大し、新型工業化・情報化・都市化・農業の現代化を実現。コア技術の成長を目指し、都市・農村の一人当たり所得を更に引き上げて中間所得層を拡大する。また「第 14 次五か年計画」（2021-25）期間中の主要目標としては以下（抜粋）：①消費・投資の促進による内需の規模拡大 ②分配の改善（都市農村の発展格差の縮小等）③供給の質向上（産業構造高度化、イノベーション 能力向上等）④市場体系の整備（秩序ある競争、制度改善等）⑤経済循環の円滑化（ハイレベルな開放型経済の形成等）。習氏が掲げる「共同富裕」については今後も強固に推進：①1 次分配：雇用の質向上による労働所得の増加。中間所得者層の規模の拡大。②2 次分配：個人所得税制度の改善。高所得者層に対する税の徴収と監督管理の強化に着手。社会保障制度の健全化。③3 次分配：慈善事業の発展等（新華社 12/15）
- ・防疫措置の最適化；国家衛生健康委員会は、感染症対策の重点は、感染の予防・コントロールから医療・治療に移ったと述べた。これを受けて、各地で展開されていた①高中低リスク地域の撤廃②PCR 検査の要求撤廃（\* 発表当時の内容は一部緩和）③健康コード提示の最適化（\* 発表当時の内容は一部撤廃）④移動地点での PCR 検査撤廃等、11 日頃から広州・重慶等の地方都市を皮切りに、各地でコード管理や PCR 検査規制が緩和されていった。その後一気に制度緩和は加速、現在はほぼすべてのコード管理は無くなり、公共交通や公共施設にも自由に出入りが可能となった。半面、感染が予想を上回るスピードで拡大。医療・治療現場は緊張感が出ている。政府は医療・治療を強化する方針を出しているが、治療薬や解熱剤、病棟や救急車等は全く追いついていないのが現状。医薬品の買占めや、発熱病棟の受け入れ態勢不足、医師不足等、春節の移動後、感染第 3 波が終わると予測される 3 月頃迄は混乱が続くと見られている。（国家衛生健康委員会 12/11-15）
- ・2023 年 1 月 8 日より入国者に対する隔離規制撤廃；国家衛生健康委員会より新政策「乙類乙管」が発表され、コロナウイルスは伝染病対象にならず、来春に関連の疫病蔓延防止制度はほぼ撤廃される事になった。国家外交部（外務省）の毛寧報道官は 21 日の定例記者会見で、中国が入国者に対する隔離政策を近いうちに最適化する可能性を示し、国境を越えた人的往来にさらなる便宜を図っていくと言及がなされたばかりだった。2023 年 1 月 8 日以降は、一般社会でも陽性者に対しても特別措置も

PCR 検査義務も無くなり自己健康管理に転換、全ての社会活動は自己責任の下での通常活動を奨励。入国者についても陰性者（\*要出発前 48 時間以内証明）であれば入国が自由となる。中国人に対しても 3 年間閉ざされていたパスポート発給が復活する。（国家卫生健康委員会・中国新聞網 12/27）

### 【製造業関連・関連の政策等】

- ・全国石炭産出量 40.9 億トン；今年 1-11 月の全国石炭算出量は 40.9 億トン、前年同期比+9.7%となり、昨年同期より 3.6 億トン増加し、過去最高を記録。現在、冬季ピークの重要な時期にあり、国家エネルギー局は業務強化を継続、有力・有効な措置をとるとし、石炭の生産能力の解放を加速して高い生産水準を維持するとした。（12/17 国家エネルギー局）
- ・石油製品価格を引き下げ；最近の国際市場における石油価格の変動により、2022 年 12 月 19 日 24 時より国内の石油製品価格を引き下げる。ガソリン価格は 1 トンあたり 480 元、軽油価格は同 460 元の引き下げとなる。（12/19 国家発展改革委員会）
- ・11 月の貿易統計総額が減少；11 月の貿易総額（ドル建て）は前年同月比▼9.5%（10 月から▼9.1pt）で、うち輸出は同▼8.7%（10 月から▼8.4pt）、輸入は同▼10.6%（10 月から▼9.9pt）。（12/7 海関総署）
- ・11 月乗用車販売台数前年同期比減；11 月第 4 週（21-27 日）の乗用車販売台数は前年同期比▼31%、前月同期比▼32%の 37.0 万台だった。11 月第 1-4 週（1-27 日）累積では前年同期比▼14%、前月同期比▼15%の 123 万台だった。（11/30 乗用車聯席会）

### 【トピックス】

#### 1：防疫措置最適化による全国に広まる感染の波

疾病予防コントロールセンター（中国 CDC）感染症学首席専門家は、主に都市部で徐々に感染率が上昇する 12 月中旬～1 月中旬の「第 1 波」、春節前の人の異動による 1 月下旬～2 月中旬にかけての「第 2 波」、旧正月後の仕事復帰による 2 月下旬～3 月中旬にかけての「第 3 波」の 3 回にわたるピークが出現し、約 3 か月間流行が継続。この冬の感染率は約 10%～30%程度になるとの予測を述べた。山東省、西安市、蘇州市等の各地でこれまでの PCR 検査拠点が「発熱外来拠点」に用途が転換されている等、これまでの「コード」によるゼロコロナ管理が全くなり、感染者の薬や医療対応が急務となっている。

#### 2：中国航空国際線旅客数前年同月比 123.8%増

11 月の航空旅客数が前年同月比▼41.6%となった。うち国内線は前年同月比▼42.4%となったが、国際線は 123.8%増。（12/20 中国民航局）JNTO が発表した 11 月の中国からの訪日客数は 21,000 人（2019 年比▼97.2%、2021 年比 ▲558.5%）、1-11 月累計では 155,500 人（同▼98.2%、同▲284.2%）でやはり増加傾向にある。航空便も増便傾向にあり、来年は一層の往来が期待される。

#### 3：中国婚姻率低下

2021 年の婚姻届提出は 764.3 万組で、2003 年以来、初めて 800 万組を下回った。「中国統計年鑑 2022」に基づくと、初婚人数は 1157.8 万人で、こちらも初めて 1,200 万人を下回っている。初婚人数の省別トップは広東省。（12/1 第一財經）

#### 4：中国で最も幸福感の高い都市 成都・杭州などが選出

週刊誌「瞭望東方週刊」とシンクタンクの瞭望智库が共同で実施した「中国で最も幸福感が高い都市 2022」調査選出活動の結果が、浙江省杭州市で行われた「中国幸福都市フォーラム（2022/12/21）」で発表された。それによると、「中国で最も幸福感が高い都市 2022」の省都都市・計画的独立財政市の部門では、成都、杭州、寧波、広州、南京、青島、瀋陽、長沙、合肥、西寧が選出された。その他の部門では、温州、台州、泰州、蘇州、威海、湖州、常州、無錫、攀枝花、陽江、營口が選出されている。（人民網 12/22）

#### 5：中国いよいよ来春入国者管理規制撤廃

中国国家衛生健康委員会は、新型コロナウイルス肺炎を新型コロナウイルス感染に名称変更。名実ともに「疫病」ではないと中国政府も明言。これを受けて来春 1 月上旬に厳しかった入国者への隔離規制等の撤廃の見通しが立ってきた。足掛け 3 年に及んだコロナ規制による往來の断絶を経ていよいよ自由な往來が目前となってきた。（12/26 国家衛生健康委員会・第 7 号）

#### 【中国生産設備製造業・回復基調】

中国の製造業が元気を取り戻し始めている。

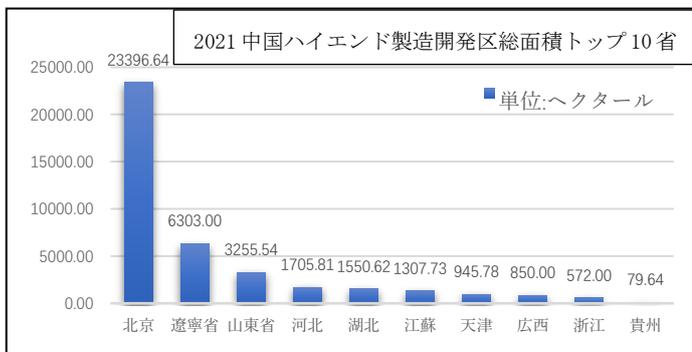
生産設備に係わる製造業が回復基調になってきた。国家統計局がこのほど発表したデータによると、今年 1-10 月には、生産設備製造業の利益が前年同期比で 3.2% 増となった。成長率は 1-9 月を 2.6pt 上回り、6 ヶ月連続で上昇した。10 月単月では同 25.9% 増となり、速い成長を実現した。

生産設備製造業の利益が大幅に回復したと同時に、工業企業の利益における業界構造も最適化し続けた。1-10 月の生産設備製造業の利益が一定規模以上の工業企業（全国の年売上高 2000 万元以上の工業企業）全体に占める割合は 32.2% となり、1-2 月に比べて 7.1pt 上昇した。生産設備製造業の 8 大類業界の利益はいずれも 1-9 月に比べて状況が改善している。

業界別では、1-10 月には電気機械業界が新エネルギー業に牽引された形で、利益が同 29.0% 増と大幅に増加。成長率は 1-2 月を 3.7pt 上回った。鉄道・船舶・航空・宇宙輸送設備業界の利益は同 13.7% 増で、1-2 月を 4.2pt 上回った。自動車消費促進政策が持続的に効果を発揮するのに伴って、自動車の販売が急増傾向を保ち、自動車業界の利益を 0.8% 押し上げた。（国家統計局・人民網 12/23）

#### ◆中国ハイエンド産業への期待

中国のハイエンド設備産業は第 14 次 5 年計画にも入る急成長領域。今後数年間で、ハイエンド設備製造業界は 15% の年平均複合成長率を維持すると見られていた。2026 年迄にはハイエンド製造業界の市場規模は 5.8 兆元前後に達すると見込まれている。全国的なコロナ蔓延で停滞した今年、それでも後半

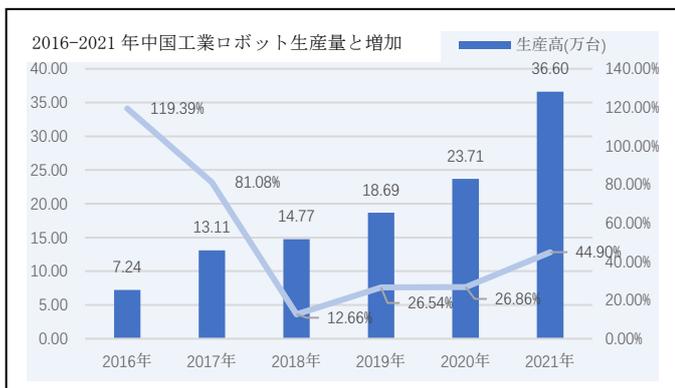


には挽回を見せ回復基調となった。ハイエンド産業は設備とソフトウェア業界に大別され、ロボット、センサー、工業ソフトウェア、3D プリント領域には数百億元の成長が期待されている。ハイエンド産業の集積を面積という「面」の大きさで見ると、北京市、遼寧省、山東省、河北省、湖北省、江蘇省。総面積はいずれも 1,000 ヘクタール以上である。政治中心の都市と思われがちな北京市は、かつての河北省領域までを含んだ範囲で、最大のスマート製造開発区面積を誇っている。

\* 「世界知能製造センター発展傾向報告」、「中国インテリジェント化発展指数報告」等から FNA 整理

◆中国工業用ロボット成長率

スマート製造に欠かせない工業用ロボット。中国の産業用ロボット市場は世界市場 1/3 のシェアを



占め、6年連続で世界第1位。圧倒的な規模感とスピードを誇る。2020年に全国の産業用ロボット生産量が20万台を突破した後、2021年は30万台超、前年比44.9%増加を記録した。同時に、産業用ロボットの応用業界と応用分野もさらに拡大し、自動車、電子、冶金、軽工業、石油化学、医薬等の主要産業領域を全てカバーしている。溶接、塗装、組立、運搬、積み重ね、磨き、接着剤塗布、選別、梱包、検査、材料投入などの、一連の作業工程の自動化が加速。コロナを経験した中国では、定量化・無人化・

\*工信部装备工业发展中心年報(2021)

品質安定・コスト削減への意識が高まっており、都市封鎖等で稼働できなかった2022年前半の冷え込みから、後半は巻き返しを図っている。現在、装置導

入に向けて、産業用ロボット・ハイエンド設備産業が復活傾向になってきている。政策転換がなされ、封鎖管理や物流網の断絶の心配がなくなった今、製造業の回復につれて、今後も産業用ロボットを組み合わせるIT技術、また関連のハイエンド設備製造は一層の需要が見込まれる。

中国はゼロコロナ政策からの大転換、大幅政策調整がなされた今、驚異的な感染率を日々更新。このスピードには驚かされています。突然流行った黄桃缶詰、梨シロップに枇杷喉飴にレモン水、焼きミカン、民間療法も多くある中国。陽性となってどこか隔離施設へ連れて行かれる心配もない今は、感染したら養生あるのみ。皆様もくれぐれもお気を付けください。中国の旧正月(春節)はもう少し先、もう一度、年末が巡ってきますが、日本では年越し。皆様、どうぞ良いお年をお迎え下さい。



大阪産業局上海代表処 中国(上海)ビジネスサポート  
 ファクトリーネットワークチャイナ (工場網信息科技有限公司)  
 上海市長寧区延安西路2201号 上海国際貿易中心2階268室